

—2019—

令和元年度事業報告

自 平成31年4月 1日

至 令和 2年3月31日

令和2年6月27日

公益社団法人

国民文化研究会

事務所 〒150-0011 東京都渋谷区東1-13-1-402
TEL 03-5468-6230 FAX 03-5468-1470

令和元年度事業報告

公益社団法人 国民文化研究会

はじめに

本会主催の「全国学生青年合宿教室」は、昭和31年8月、鹿児島県・霧島で第1回を開催して以降、本会の基幹事業として毎年欠かさずに開催して、64回目を迎えました。本年度は、「東日本」と「西日本」の二ヶ所に於て開催することになりました。「東日本」は8月30日(金)から9月1日(日) (2泊3日)に千葉県柏市・公益財団法人モラロジー研究所「柏生涯学習センター」において開催、また「西日本」は5月25日(土)から5月26日(日) (1泊2日)に熊本県葦北郡芦北町「県立あしきた青少年の家」での開催となりました。大学生・社会人・及び関係者125名(内訳;東日本77名、西日本48名)の参加者が集い、「東日本」合宿では日本政策研究センター代表・伊藤哲夫先生をお招きし、その他、会員講師による講義・古典輪読・班別研修等が行なわれて、学問・人生・祖国のあり方を心ゆくまで語り合う真剣な研鑽が行われました。

合宿後には、会員有志によって編集された『参加者感想文集』及び合宿レポート『日本への回帰』第55集が刊行され、合宿での研鑽の様子を会員、賛助者をはじめ多くの方々にお伝えしました。また合宿参加者は合宿で出会った班員との交流を開始し、友情を深めることが出来ました。また、関東、関西、九州等の各地の学生及び社会人を交えて大学内、公私立施設における常設の研修活動(輪読会、読書会、「短歌の会」、テーマ毎の研究会等)も自ずから活性化することとなりました。これらの活動は、それらの会に参加する者同士が、お互いに切磋琢磨し学問する場であると同時に、多数の方々を対象に伝統文化の普及や思想啓発のための講演会・懇話会の開催といった活動に繋がってきています。

一方、内政・外交・教育の各方面では益々問題が錯綜していますが、私ども会員一同は、心を新たにして、本会の目的である「日本の長い歴史の中に蓄積された祖先の足跡を学び、国民各層への伝統文化の普及に努めるとともに、国内外で活躍する有為な青年の健全な育成を推進し、もって学術・文化の振興並びに豊かな人間性の涵養に

寄与する」(定款の目的) ことに向かって、地道に邁進しておりますことをご報告いたします。

以下、当該年度の年間事業をご報告申し上げます。

I. 研修事業(公益目的事業)

1. 年次研修会としての「合宿教室」の開催

①第64回「全国学生青年合宿教室(東日本)」の開催

「温故知新～新しい時代に生きる日本の心～」という研修テーマをかかげ令和元年8月30日(金)から9月1日(日)までの2泊3日間、千葉県柏市「公益財団法人モロジー研究所内・柏生涯学習センター」で開催いたしました。日本政策研究センター代表・伊藤哲夫先生のご講義を中心に、本会会員による諸講義を加え、77名の参加者を得て各種行事を滞りなく遂行し、実り多い成果を上げることが出来ました。

合宿運営委員を下記します。

本部

運営委員長	池松 伸典
運営委員	武田 有朋
	武澤 陽介
	北村 公一
	森田 仁士
	久保田 真

指揮班

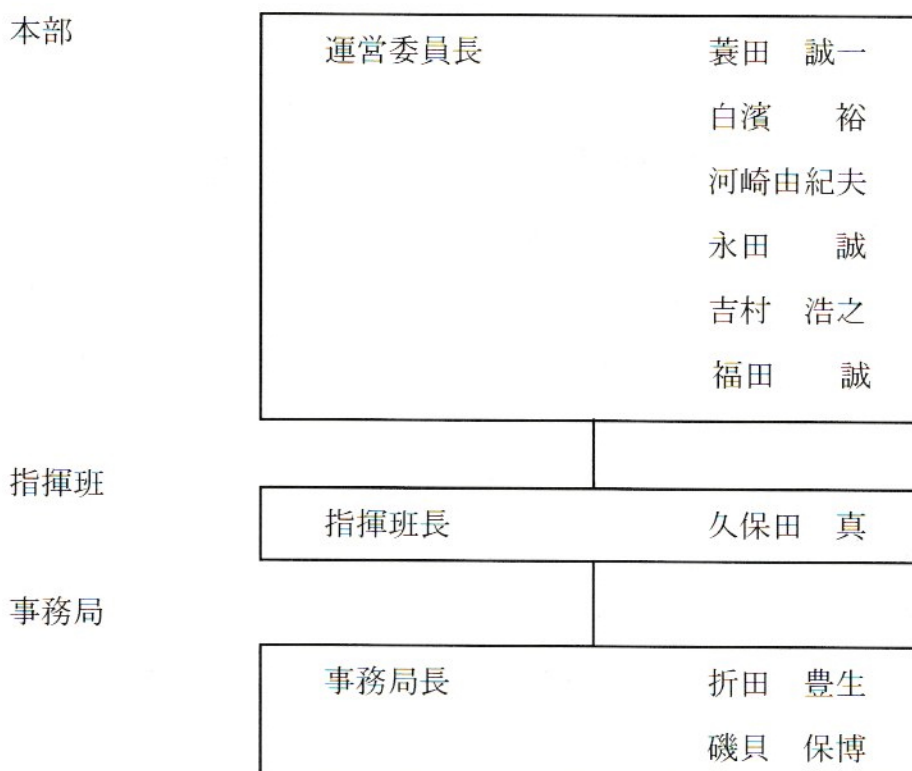
指揮班長	佐川 友一
------	-------

事務局

事務局長	磯貝 保博
------	-------

②第64回「全国学生青年合宿教室（西日本）」の開催

「新たな時代をどう生きるか!!」という研修テーマをかかげた「全国学生青年合宿教室（西日本）」を令和元年5月25日(土)から5月26日(日)までの1泊2日間、熊本県葦北郡芦北町「県立あしきた青少年の家」で開催いたしました。本会会員による諸講義を中心に48名の参加者を得て、各種行事を滞りなく遂行し、実り多い成果を上げることができました。合宿運営委員を下記します。



③第64回合宿教室『参加者感想文集』の刊行

上記の「合宿教室」に参加した学生・青年が、終了間際に記した感想文をまとめた『参加者感想文集』を例年通り刊行いたしました。会員の北濱道氏を中心に、各地の会員諸氏の協力のもとに、A5版116ページにまとめ、会員の撮影によるスナップ写真を挿入して短期間で仕上げることができ、令和元年12月24日に1050部を刊行しました。合宿参加者と正会員、賛助会員へは早速、送付し、賛助者はじめ江湖の方々には、『日本への回帰—第55集』（令和2年3月発行）と共にお送り申し上げました。各方面からお褒めのお言葉をいただき、本書が本会活動の内容を

世間にお知らせするのに、またとない資料となっていることを改めて確認した次第であります。

④第64回合宿教室レポート『日本への回帰—第55集』の刊行

前記の第64回合宿教室のレポートである『日本への回帰—第55集』は、会員の森田仁士・最知浩一・高橋俊太郎氏の現地録音作業によるテープ・写真を基にして、関東地区在住の山内健生・藤井 貢両氏を中心とする会員諸氏の協力で、新書版318ページにまとめられ、令和2年3月に1100部を刊行し、合宿参加者全員に発送致しました。

2. 常設研修会としての全国各地での活動

「合宿教室」の開催を軸とする、全国各大学での学生達による同信の友との研鑽活動は、各地在住の本会若手会員（社会人）の助言、指導もあって、引続き充実した歩みが見られました。各地区の学生と社会人を交えての輪読会・読書会・短歌の会・古典研究会等が全国的に展開されました。

【北陸地区】

富山在住の会員岸本弘氏が主宰する輪読会、短歌会が継続して開催されました。

- ・かたかごの会—輪読と短歌の創作・相互批評

この他、『高志のうた』と題する会員・関係者の歌だよりが毎月発信されました。

【関東地区】

関東地区では学生・社会人の参加する研修会が継続開催され、主として東京事務所のセミナー室で開かれました。

- ・小林秀雄著『本居宣長』読書会
- ・東京短歌の会
- ・四土会
- ・葦牙の会
- ・調つきの会
- ・北鎌倉輪読会
- ・日本の国柄と皇室に関する研究会
- ・神奈川県教育問題研究会

- ・三水会（駒場読書会）
- ・松陰会
- 【関西地区】
- ・関西信和会（短歌会及び読書会）
- 【山口地区】
- ・漢文勉強会
- 【福岡地区】
- ・福大寺子屋塾（福岡大学）
- ・（聖徳）太子会
- ・小柳陽太郎先生に学ぶ勉強会
- ・眞木和泉守研究会
- ・其儘会（きじんかい）
- ・「しきしまの道」会
- ・筑豊短歌会
- 【佐賀地区】
- ・鳥の郷古典素読会
- 【長崎地区】
- ・長崎短歌の会
- 【熊本地区】
- ・三土会
- ・熊本短歌の会
- 【鹿児島地区】
- ・輪読と昭和史研究会

3. 「短歌通信」の発行

わが国の伝統文化の中核をなす短歌の創作・実習の場として、全国各地から寄せられた短歌が随時「短歌通信」として澤部壽孫副理事長の編集によって今期2月までに160号が継続発行されました。

4. 情報発信の基盤強化

本会のホームページ上に本会の事業活動の紹介はもとより、基幹事業である「学生青年合宿教室」及び本会主催の「国民文化講座」をはじめ各種講演会や諸行事及び各地での読書会、輪読会等の案内を掲示して、「合宿教室」の参加勧誘及び会員相互の研鑽情報の提供に成果を挙げています。最近ではホームページを通じての学生、社会人の「合宿教室」参加申込みも顕著になって参りました。

平成26年1月には本会のフェイスブックを開設いたしました。会員島津正數氏を管理者として、活発な情報発信を続けております。多数の方々に本会の活動を理解してもらうためにも有効な手立てであると考えております。

5. 本会発行書籍の電子化(PDF)

既刊の本会発行の書籍をPDF化し、会員に本会HPを通し閲読可能とすると共に電子書籍として販売するなど再利用の活性化・普及をはかりました。

6. 「日本の心を学ぶ連続講座」の開催

本会会員の編集・執筆による「語り継ごう日本の思想」を基本テキストとして、先人の言葉を読んで日本の心を学ぶ場として、国民文化講座参加者や合宿教室の参加者などをベースとして広く参加を呼びかける、新たな公開講座を開講しました。

第1期テーマ「公と私」

第1回 西郷隆盛『南洲翁遺訓』 (令和元年6月1日)

第2回 『五箇条の御誓文』 (令和元年7月6日)

第3回 聖徳太子『十七条憲法』 (令和元年8月3日)

第2期テーマ「緊迫する極東情勢」

第1回 樋口一葉 (令和元年12月7日)

第2回 陸奥宗光『蹇蹇録』 (令和2年1月11日)

第3回 「日清戦争と明治天皇」 (令和2年2月1日)

II. その他の事業

1. 会報の発行

会報（月刊『国民同胞』）は、会員の研鑽の成果を世に問うという伝統を踏襲しつつ、また新しい企画も加えながら1450部を継続刊行し、期末で第701号目の発行となっております。なお50号毎の合本も第13巻までを頒布しております。

2. 講演会の開催

第22期(第31回)を迎えた「国民文化講座」は、令和元年5月19日(日)千代田区立「日比谷図書文化館」で開催されました。講師には東京大学名誉教授・小堀桂一郎先生をお招きし「あらためて考へてみる我が國體」と題して、お話をいただき約97名が聴講いたしました。

また、関西地区でも、令和2年1月13日に、神戸市立総合福祉センターにおいて、伊勢雅臣氏（メールマガジン「国際派日本人講座」発行人、当会会員）及び絹田洋一氏（当会会員）による楠木正成公にまつわる講演会を開催しました。

3. 出版活動

先帝陛下の御即位30周年を記念して「平成の大みうたを仰ぐ（三）」を刊行しました。天皇を考えるにあたり最も大切なことは、何よりもまず、わが国の天皇は一体どのようなお方なのかを正確に知ることであり、そのためには天皇方が詠まれた御歌を拝読することが欠かせないと考え、当会では長く歴代の天皇の御製を拝読、研究してまいっております。既刊の「平成の大みうたを仰ぐ」（一）（二）に加え、今回の出版で先帝陛下の年頭発表の御製すべてについての謹解書が完成することになりました。

会員の研究成果や輪読資料を機動的に出版するため、電子書籍（プリント・オン・デマンドで少数の現物出版も可能）で国民文化入門選書を刊行しました。当期の刊行は5冊となりました。

4. 顕彰事業

日本学生協会・精神科学研究所・国民文化研究会の道統に連なる師友のみ霊をお祀りする本会恒例の慰霊祭は、令和元年9月23日(月)午後3時から飯田橋の「東京大神宮」において厳粛に執り行われました。ご遺族を含め33名の方にお集まりいただき、全国から献詠歌が多数寄せられました。また、この日に先立つ同年8月18日(日)には福岡市南郊の油山中腹の泪が原に関係者20名が集い、昭和20年8月20日、敗戦の責めを負い自刃された長島秀男海軍技術中佐と寺尾博之海軍少尉の慰霊祭が執り行われました。

Ⅲ. 総会・理事会の開催状況

今年度の総会及び理事会の開催状況は以下の通りです。

【総会】

- ・開催日時 6月22日(土)午後2時～4時
- ・場 所 金王八幡宮 社務所集会室
- ・出欠状況 本人出席 15名 委任状出席 260名 欠席会員 134名
合計409名(総正会員数)
- ・議 案 「平成30年度事業報告及び収支決算」に関する事項
- ・報告事項 「平成31年度事業計画及び収支予算」に関する事項

【理事会】

- No.1・開催日時 5月19日(日)10時～11時30分
 - ・場 所 国民文化研究会会議室
 - ・出欠状況 本人出席 9名 欠席 3名 監事出席 3名
 - ・議 案 (1)「平成30年度事業報告及び収支決算」に関する事項
(2)「定時総会招集」に関する事項
 - ・報告事項 業務執行理事からの業務報告
- No.2・開催日時 令和2年4月6日(月)
定款34条(決議の省略)により電磁的記録により理事会の決議を行った。

- ・議 案 (1) 「令和2年度事業計画」に関する事項
- (2) 「令和2年度収支予算」に関する事項